

1. 【学校教育目標】 『生きていく力』の育成  
 ◎豊かな心 ◎確かな学力 ◎健やかな体
2. 【目指す生徒像】 夢をもち、自らの未来を切り拓く生徒  
 ○ 自信がもてる生徒 ○ 自分を表現できる生徒 ○ 挨拶ができる生徒

## 3. 【学校経営方針】

全教職員が、一人ひとりの生徒に夢を持たせ、それを実現させるために生徒と共に歩むことを共通理解し、自己研鑽を積みながら、進むべき道を示し、我々が持つあらゆる人間力を出し切って全力で教育実践に取り組む。

■ 小規模校・少人数の利点を最大限に生かす。

- ・ 言語活動や小集団活動を取り入れた授業実践に取り組む。
- ・ 生徒の背景を深く理解し、一人ひとりの生徒にきめ細かくかかわる。

■ 地域の伝統的・文化的な環境を活用する。

- ・ 地域の伝統文化を活用した教育活動・授業実践を積極的に推進する。
- ・ 地域の人材・施設等を掘り起こし、より充実した活用と系統的な取組を行う。

## 4. 【重点目標】

- 自尊感情・自己肯定感・自己有用感の向上
- 言語活動の充実
- コミュニケーション能力の育成
- キャリア教育の推進

## 5. 【重点的取組み】

① 豊かな人間性を育む —けじめのある生活・他人を思いやる心・自分への自信—

- ◆ 自律心と責任感を育成し、しっかり挨拶をする習慣を定着させる。
- ◆ 人権教育・道徳教育を充実し、豊かな感性と情操を育む。
- ◆ 個と個、個と集団の関わりを重視した『協働活動』を意図的・系統的に展開する。

② 確かな学力を定着させる —学力向上・進路保障—

- ◆ 言語活動や小集団活動を積極的に取り入れた授業を実践する。
- ◆ 家庭学習を定着し、習慣化させる。
- ◆ 自らの将来に夢や希望を見出すための系統的なキャリア教育を推進する。

③ 健やかな体を育成する —保健教育・食教育・安全教育・防災教育—

- ◆ 心身の健康を維持し、意欲を持って毎日を生き生きと生活できる力を身に付けさせる。
- ◆ 地域防災の拠点として、地域との連携の下、学校のあるべき姿を模索する。

④ 校種間連携を軸とした、創造的な学校を目指す —12年間の連続的な学びの創造—

- ◆ 小中連携を柱に、中高連携・中中連携を通して、12年間を見通した中学3年間の子どもたちの成長を支援する。

⑤ 養護施設の生徒個々の自立に向けた支援を行う —社会性・生活力・学力・将来展望—

- ◆ 一人ひとりの生徒に焦点を当て、将来展望を持たせ、その実現へ向けて取り組む。

⑥ 地域の中で子どもたちを育てる —安心感と自己有用感—

- ◆ 地域を知り、地域と深く関わることで、地域に育まれてきた自分を意識させる。
- ◆ 学校が核となり、積極的に地域と連携して子どもたちの学びを育む。